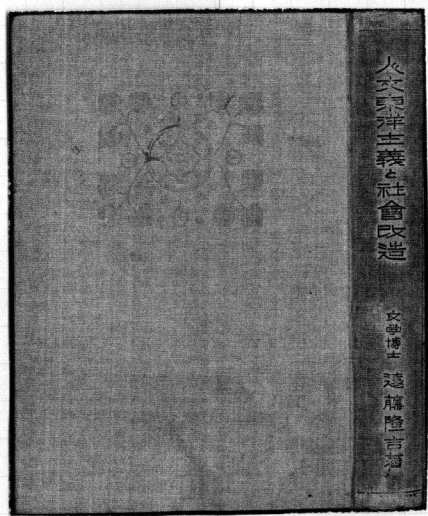


遠藤隆吉 とんきち 倫理學・社會學者、文學博士。明治七年十月、二月并馬森生乳、昭和二十一年二月五日歿（二七四—一九四六）。號築園、築園學人、獨樂道人、赤城。第一高等學校を經て、明治二十一年東京帝國大學文科大學哲學科卒。四十二年築園學舎を創立し、學内心易學研究所、社會學研究所を設置。その後と兼鴨中學校、兼鴨商業學校、兼鴨高等商業學校を設立した。

著書に『社會史論』（明治二十八年八月二十六日同文館）、『發音と表情』（明治四十一年二月九日社會學研究所・弘道館「日本社會學研究所論集」）、『新論語』（合著・成功雜誌社編、明治四十二年六月十日成功雜誌社）、『東洋倫理研究』（明治四十四年二月六日弘道館）、『理想の人物』（大正二年一月二十八日金尾文淵堂）、『道徳と品性』（大正五年四月十日廣文堂書店）、『易の原理及占筮』（大正五年十二月五日明誠堂書店）、『三田社會學會講演集・第一輯』（合著、大正九年十一月十八日三田社會學會）、『人間生活の實現』（大版・大正十二年二月十五日教文社）、『人文東洋主義と社會改造』（大正十二年十一月二十日教文社）、『老子を讀む』（今日小在らしかば）（大正十四年二月二十八日早稲田大學出版部）、『孝經及東西洋の孝道』（昭和十一年十月一日築園學舎出版部）、『大東策』（昭和十四年十一月二十五日築園學舎出版部）等。



九、 遠藤先生
華田壽詩記念論文集
集（還曆詩記公



會編 昭和九年十一月二十三日 藤原市博士會 謹啟